



2020年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年12月11日

上場会社名 クロスプラス株式会社
 コード番号 3320 URL <https://www.crossplus.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 大寛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西垣 正孝

TEL 052-532-2211

四半期報告書提出予定日 2019年12月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第3四半期の連結業績(2019年2月1日～2019年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第3四半期	43,808	6.5	705	1,103.7	852	320.1	915	267.1
2019年1月期第3四半期	46,874	0.7	58	91.5	203	74.5	249	64.9

(注) 包括利益 2020年1月期第3四半期 928百万円 (69.8%) 2019年1月期第3四半期 546百万円 (42.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第3四半期	124.90	124.57
2019年1月期第3四半期	34.06	33.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第3四半期	28,819	12,656	43.9
2019年1月期	27,920	11,781	42.1

(参考) 自己資本 2020年1月期第3四半期 12,642百万円 2019年1月期 11,762百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期		3.00		3.00	6.00
2020年1月期		5.00			
2020年1月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	6.2	550		700	193.7	750	131.7	102.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期3Q	7,718,800 株	2019年1月期	7,718,800 株
期末自己株式数	2020年1月期3Q	386,761 株	2019年1月期	398,661 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期3Q	7,329,460 株	2019年1月期3Q	7,319,006 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年2月1日～2019年10月31日)におけるわが国経済は、景気は全体として緩やかな回復基調を続けておりますが、米中貿易摩擦の深刻化や欧州の政治・経済の不安定化等で世界経済の減速懸念が強まるなか、先行き不透明な状況が続きました。

当アパレル業界では、平年を上回る台風の上陸や低気温による夏の遅れがあった一方で暖かな秋となり、ファッション衣料の販売にとっては厳しい環境となりました。

このような環境の中、当社グループは、今期を初年度とする中期経営計画の基本方針として、アパレル事業の創る力をベースに業態・機能を掛け合わせることで、新業態の確立、アパレルの機能強化、事業領域の拡大を推進しております。

売上高は、7月の記録的な低気温や長雨が響いたことにより夏物商品が販売不振となり、9月が高気温で推移したため、秋物及び冬物の立ち上がりに影響を与えたこと等で、前年を下回りました。販売チャネル別では新規販路の拡大を進めた専門店チャネルが微減収に留まったことやネット専用ブランドを立ち上げたECチャネルで売上が拡大したものの、無店舗チャネルのカatalog向け販売や量販店チャネル向けの販売が減少したことで減収となりました。

利益面ではアパレル卸売部門で主力工場での生産強化、アセアン工場の活用による原価低減に努めたことや、各販売チャネルにおける採算性の見直しを進めました。また、アパレル小売部門では短納期生産による商品供給体制の強化に努めました。以上により、売上高総利益率が前年から2.9ポイント改善したことで、売上総利益が98億12百万円(前年同期比7.5%増)となりました。経費は売上減少による物流費減少があったものの、EC関連のシステム投資や販売促進費用の増加により販売費及び一般管理費は91億6百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、438億8百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は、7億5百万円(前年同期比1103.7%増)、経常利益は、8億52百万円(前年同期比320.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益1億10百万円の計上等により9億15百万円(前年同期比267.1%増)となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

販売チャネル別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
専 門 店	20,833	△0.7
量 販 店	15,920	△10.6
無 店 舗	4,134	△20.6
百 貨 店 他	2,037	△11.8
E C	676	+111.5
そ の 他	206	△13.8
合 計	43,808	△6.5

(注) 当期より表記の見直しを行い、旧区分「専門店」「量販店」「無店舗」「その他卸売」「小売」「その他」「消去」から、新区分「専門店」「量販店」「無店舗」「百貨店他」「EC」「その他」に変更しております。なお、前年同期比は新区分による同水準比較としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は288億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億99百万円の増加となりました。

流動資産は198億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億15百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が5億41百万円減少したものの、商品が8億36百万円、受取手形及び売掛金が4億35百万円増加したこと等によります。

固定資産は89億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億13百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が2億33百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は161億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円の増加となりました。

流動負債は140億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億24百万円の増加となりました。流動負債の増加の主な要因は、電子記録債務が12億69百万円減少したものの、短期借入金が22億43百万円増加したこと等によります。

固定負債は21億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億円の減少となりました。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が3億54百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は126億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億74百万円の増加となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が8億51百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期通期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2019年9月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は2019年12月11日に公表いたしました「業績予想値の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,226	3,684
受取手形及び売掛金	10,326	10,762
電子記録債権	1,496	1,900
商品	2,173	3,009
貯蔵品	30	20
その他	444	536
貸倒引当金	△20	△22
流動資産合計	18,677	19,892
固定資産		
有形固定資産	4,171	4,095
無形固定資産		
のれん	328	270
その他	149	144
無形固定資産合計	478	414
投資その他の資産		
投資有価証券	4,051	3,818
その他	524	584
投資その他の資産合計	4,576	4,402
固定資産合計	9,225	8,912
繰延資産		
開業費	17	13
繰延資産合計	17	13
資産合計	27,920	28,819
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,147	4,141
電子記録債務	4,635	3,365
短期借入金	2,157	4,400
1年内返済予定の長期借入金	630	484
未払法人税等	117	26
賞与引当金	93	231
返品調整引当金	43	44
その他	1,499	1,353
流動負債合計	13,322	14,047
固定負債		
長期借入金	1,118	764
退職給付に係る負債	950	887
その他	746	462
固定負債合計	2,815	2,115
負債合計	16,138	16,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	7,203	8,054
自己株式	△528	△513
株主資本合計	10,626	11,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,278	1,138
繰延ヘッジ損益	△126	45
為替換算調整勘定	24	△3
退職給付に係る調整累計額	△40	△31
その他の包括利益累計額合計	1,135	1,148
新株予約権	19	14
純資産合計	11,781	12,656
負債純資産合計	27,920	28,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
売上高	46,874	43,808
売上原価	37,760	33,994
売上総利益	9,113	9,813
返品調整引当金戻入額	66	42
返品調整引当金繰入額	50	44
差引売上総利益	9,128	9,812
販売費及び一般管理費	9,070	9,106
営業利益	58	705
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	67	66
受取家賃	108	109
その他	40	22
営業外収益合計	220	202
営業外費用		
支払利息	24	15
貸貸収入原価	35	35
その他	16	4
営業外費用合計	75	55
経常利益	203	852
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	136	110
その他	14	1
特別利益合計	155	112
特別損失		
品質関連対応費用	46	—
事業整理損	5	1
その他	16	0
特別損失合計	69	1
税金等調整前四半期純利益	289	963
法人税、住民税及び事業税	99	62
法人税等調整額	△59	△14
法人税等合計	39	47
四半期純利益	249	915
親会社株主に帰属する四半期純利益	249	915

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	249	915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	△139
繰延ヘッジ損益	343	171
為替換算調整勘定	△20	△27
退職給付に係る調整額	17	8
その他の包括利益合計	297	12
四半期包括利益	546	928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	546	928
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。